見学会にお越しください

耳原総合病院 リハビリスタッフ募集

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士

見学会のご案内

場所：耳原総合病院
日時：９月12日(金)、９月15日(金)
９月29日(金)　13：30～
申し込み先：riha@mimihara.or.jp
担当：リハビリ室　中村・大楠

（氏名・連絡先・学校名・学科・希望日を記載してください。こちらから折り返し連絡いたします。）

私たちみみはらグループリハビリテーションは、地域の人々が住み慣れた街で健やかに生活できるよう、寄り添い、あきらめない医療を方針として、医療・介護どの分野にも対応できる総合的リハビリテーションスタッフの育成を目指しています。

医療分野では、耳原総合病院の急性期病棟、緩和ケア病棟、回復期リハビリ病棟など入院から退院までの機能回復を援助し、介護分野では、老人保健施設での入所・通所リハビリ、クリニックでの訪問リハビリ、短時間デイケアなど、退院してからの在宅生活を中心に生活を援助しており、シームレス（途切れない）なリハビリテーションを提供しています。

技術や知識だけでなく、病気になった背景（健康の社会的決定要因＝SDH）を考え、より一層その人に必要なサポートができるように日々取り組んでいます。

今回、耳原総合病院の急性期・回復期スタッフの体制強化、地域での高齢者増加に伴う医療・介護分野での体制強化に向けて、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を募集しています。

耳原総合病院では就職説明会（見学会）を実施し、理念や歴史、新人教育の体制や研修内容、福利厚生や病院の特色などをお話しています。

病棟での訓練場面や院内アートも見学していただけます。

新卒、既卒は問いません。ぜひ、参加してください。

研修修了後、即戦力に

ケアプランセンターで実習生の受け入れ

ケアプランセンターでは、大阪府介護支援専門員協会に登録し、ケアマネジャーの実習生の受け入れを行っています。

介護支援専門員試験に合格すると、研修修了後、即戦力として稼働できるよう、実務研修が組み込まれています。

以前は、実習生と一緒にお宅へ訪問し、利用者・家族と向き合う姿勢や、細やかな対応なども実際の対人援助の場面を見て、学んでもらっていました。会話だけでは聞き出しにくい生活の状況も把握していきます。コロナ禍以降は、机上ではありますが、実のある実習となるよう、想像力を膨らませてもらいながら講義を行っています。

介護分野でも医療との連携が重要視されており医師や看護師、セラピストなどの専門職の意見を取り入れながら、利用者・家族が家で、地域で、より豊かに過ごせるよう、習慣や生活歴にも配慮し、サービスや社会資源の調整をしています。

急性期から在宅まで、利用者・家族の健康と日常を支えることができるのは、同仁会ならではだと感じています。

「医療との連携の仕方がしっかり学べる」と実習先として選ばれた方々の内数名は、今、同仁会で共に働く仲間となり地域で活躍しています。

（鳳在宅介護支援センター　小川　裕美子）

堺市消防局

実習先として認定

救急救命士の病院実習を開始

耳原総合病院

2022年度、耳原総合病院救急部門は7700台の救急搬送を受け入れました。コロナ禍で堺市内の主要病院が救急車の受入を躊躇する中、『断わらない救急』を実践した一年となりました。

救急初療室のベッドが満床でも、医師・看護師は決して救急ホットライン要請電話を断らないように対応し、先達が長きに渡って根付かせた「断わらない救急の精神」の真髄を見たように感じます。

▶看護師より実習指導のようす

そのような中、堺市消防局より当院の姿勢に対して共感いただき、「救急救命士の病院実習」先として当院に白羽の矢が立ち、2023年度より認定されました（22年度までは別病院が担当）。

救急救命士は業務を行うにあたり、医師やその他の医療関係者と親密な連携を図りながら、適切な医療の確保に努めることが求められ、計画的に生涯教育を実施しています。必要となる教育プログラムは2年をかけ、救急救命士1人当たり半分のプログラムが、病院での実習となります。

この実習を5月から受け入れ、われわれ病院スタッフにも良い刺激となっているようです。看護師は血管確保を指導、医師は患者さんの治療内容を教育、時には救急救命士が救急ホットライン電話に対応することもあります。「耳原総合病院での実習は温かい、他の実習先病院とは違う」との嬉しいご意見も寄せられています。

実習を受けられた救急救命士の方々には、救急搬送現場での初期治療に役立つことを期待しつつ、今後も当院と堺市消防局との相互の関係を保持しながら、堺市内での「公共性の高い病院」として邁進して行く所存です。

（耳原総合病院　救急総合診療科　事務　浜本　俊行）

救急救命士に対する教育体制（病院実習）4月より開始します

■堺市消防局【救急救命士病院実習受入先病院】として2023年4月よりER部門にて受入開始致します
■手術室における【救命救急士による気管内挿管実習】に続き『公的な役割』を推し進めていきます

堺区・北区・西区の救命救急士
約400名×2日
月～金　ほぼ毎日実習生来院

救急服で実習を行い
資格区分の分かる
名札を着用します